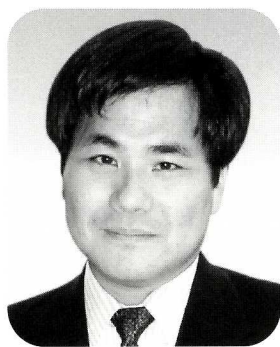


OWS大会に出場してみました



正岡 利朗
(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

今夏はなぜか、雨雲が早明浦ダム周辺を避けて通り、当地は現在大幅な水不足に陥っております。この状況下において、掲示板などでは、「当地の住民は危機感が薄い」と揶揄されております。確かにそうですね。そして、この度の台風13号で、平成17年のように「貯水率のV字回復」を願ったのですが、残念ながらそこまでの回復には至らず...

今回の話題は、「OWS (オープンウォータースイム)」です。4月号で少し言及しましたが、当方は「腰痛予防のための筋力強化」と、「メタボ予防のためのダイエット」を、5月1日から開始しました。もちろん、主体はダイエットなのですが、こちらの方はまだ現在進行形なので、またの機会にでも...

さて、そのために行う運動です。両方の目的を満たす運動であれば何でもよいのですが、これについては、スイムをしばらく継続することにしました。負荷が軽く、翌日あまり疲労が残らず、連続してできるという理由からです。そこで、それまでの週3日・1回1.5kmを、週5回・1回3kmへ増量しました。増量後、しばらくはツラかったのですが、5月中にはカラダが慣れました。そして、慣れてくると、1時間もただ漫然と泳ぐだけでは飽きたらず、スピードを上げ下げしたり、フォームを改良したりと、工夫をするようになりました。クロールのテクニックDVDなども購入し、研究したりもしていたのです。

さらに、励みとするべく、目標を立てることにしました。以前であれば、当方の長距離スイムは「ロングタイプのトライアスロン大会」と相場が決まっていたのですが、現状では、トライアスロン大会への再出場など、夢のまた夢であります。しかし、「マスターズ大会」などは一般に距離が短いため、ダイエットスイムとの親和性が低く、また、いわゆる「遠泳大会」は、みんなで頑張ろうタイプのものが中心で、なおかつ大会自体が少ないのです。そのように考えていた折、OWSのことを知った次第です。

OWSは、プールではなく、海や川といった自然のフィールドで(それなりの距離を)泳ぐことを指します。北京オリンピックで正式種目に採用されたのを機会に、水泳界もこの競技に徐々に力を入れているようです。この流れの中、最近では、各地で相次いでOWSの大会が開かれるようになってきたのです。参加者側には、得意の長距離スイムで順位を争いたい、自己記録を更新したい等の動機が、一方、主催者側には、トライアスロンほどには準備と運営が大変でなく、スイムのみでもそれなりにヒトは呼べる、ひいては「地域おこし」ができるという思惑もあるのでしょうか。

そこで、高松より手軽に参加できそうな、3km程度の種目がある大会をピックアップしてみると、以下の4つでありました。

- ①四万十川水泳マラソン(中村市、8/3)
- ②あなんオープンウォータースイム(阿南市、8/23)
- ③姫路家島OWS(姫路市家島、8/24)
- ④せとうちOWS2008 in 渋川(玉野市、9/21)

これらのうち、諸般の事情から、当方が参加可能なのは「渋川」のみであり、さっそくエントリーしようとしたのですが、募集開始の7月初旬で早々に定員に達してしまい、「キャンセル待ち」をすることになりました。そして、その後、「出場OK」の通知が来たので、めでたく出られるようになったのでした。

1週間前から調整に入らなくては、と思うのですが、仕事が山積していたり、直前の2日は台風の中、出張したりで、当日に臨みました。あいにく天候は、会場に着く頃には、恐ろしいぐらいに稲光が走り、「こりゃ中止かな?」と思わざるを得ない状況でしたが、主催者側の好判断により、スタート時刻を遅らせて、無事実施できるようになりました。

久しぶりのレースです。いよいよ13時35分にスタートの合図がなされました。参加者を70名に絞っているの、この人数ならトライアスロンスタート時のような水中バトルはあるまいと思っていましたが、ま、多少混み合う程度で殴り合いはなかったです...

1kmも泳ぐと、集団はばらけて、自分の前も後ろも他の選手がわからなくなります。うねりがあるので、波頭で、コース上に設置されているブイが見えたり見えなかったりです。潮流により流されているのに気が付いたら、その都度、ブイの方向へ進路を修正します。

2kmが過ぎた頃、右足がつりそうになりましたが、泳ぎながらなんとか状態を好転させ、危機を脱すると、ようやくゴールゲートが小さく見えてきたので、スピードを上げます。そして、ついにゴールして、完泳できた喜びを噛みしめました!当方の結果は、タイムが41分10秒、順位が完泳65名中28位でした。追い潮のおかげで、プールでは絶対出ないような速いタイムですが、順位についても、かなり満足できるものですね?

考えてみれば、魅力的な島々や海岸がたくさんある瀬戸内海ですので、このようなOWS大会が今後続々と産声を上げ、当地の人々が海をもっと身近に感じるきっかけになるかもしれません。さらに、妄想かもしれませんが、OWSはすでに海外では人気定着しているということです。スイムで近隣の島々や海岸を結ぶ「ステージレース」などがあつたなら、瀬戸内海の魅力を世界にアピールする絶好の機会となるかもしれませんね。

中央会だより 1

あなたの経営課題を解決します! ~地域力連携拠点(窓口相談)をご活用ください~

ご相談は **無料** です。まずはご相談から。

平成20年5月30日、全国一斉に「地域力連携拠点事業」がスタートしました。本会も全国316拠点(香川県内は6拠点)の1つとして本事業に取り組んでいきます。特に本会では、「地域資源活用」、「農商工等連携」の2つを重点として支援に取り組めます。

<連携拠点の支援内容>

- 相談業務…応援コーディネーター、中央会職員が中心となり、本会事務所で開催する窓口相談や巡回指導を通じて相談や支援に応じます。
- 専門家派遣…拠点事業の支援メニューに必要な専門家を無料で派遣します。
- セミナー等の開催・情報の提供…支援メニューに沿った各種セミナー等を開催し、本会HPやPR用チラシ等の配布により中小企業に役立つ情報を提供します。
- 調査の実施…業界に関連した情報の収集や先進地の調査を実施し、中小企業のニーズの把握に努めます。

経営資源や経営課題をより的確に把握したい方、地域資源の有効活用を検討したい方、農商工連携に取り組みたい方、新事業展開を図りたい方など、ぜひご相談下さい。

ご相談・お問い合わせは
香川県中小企業団体中央会

〒760-8562 高松市福岡町2丁目2番2-401号(香川県産業会館4階)
TEL(087)851-8311 FAX(087)822-4377
URL:<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/> E-mail:staff@chuokai-kagawa.or.jp

中央会だより 2

さぬきうどん振興協議会の「年明けうどん」提唱を支援

9月17日、本会はルポール讃岐(高松市)においてさぬきうどん振興協議会(真部正敏会長・会員8団体)を対象に地域力拠点事業セミナーを開催しました。

これは、本会が今年度、経済産業省から支援拠点として選定され、地域の中小企業が連携して取り組む新事業展開などについて、応援コーディネーター(正岡利朗・高松大学経営学部教授)を中心に相談指導や専門家派遣を行い問題解決を図る新規事業の一環として開催したものです。

さぬきうどん振興協議会は、香川県で今年開催された「世界麺フェスタ」での交流を契機に結成された組織で、さぬきうどん協同組合(大峯茂樹理事長)、香川県製粉製麺協同組合(堯天啓行理事長)、小豆島手延素麺協同組合(佐伯駿理事長)の3組合が中心。会長は香川大学名誉教授で農学博士の真部正敏氏が務め、会員が連携して新事業に取り組む計画です。今年度の事業として、年末に年越しそばを食べるように、年始には、うどんを食べてもらいたいと、「年明けうどん」を全国に向けて提唱、普及させることを目指しています。本会は、今後、具体的な事業計画づくりなどを支援します。



セミナーの様子

香川県最低賃金が平成20年10月から改正されます。

時間額 **651円**

【最低賃金に関するお問い合わせ先】
香川労働局賃金室 TEL:087-811-8919

労働契約に関する「相談窓口」を設置

本会では、厚生労働省（全国中小企業団体中央会）からの委託を受け、会社の就業規則や会社と従業員の間で交わす労働契約、望ましい労働契約のあり方等、様々な問題について、専門アドバイザーによる相談・助言を行う「相談窓口」を開設いたしました。

専門アドバイザーである社会保険労務士が常駐しております。相談料は無料です。

	開設日	相談内容	時 間	場 所	専門アドバイザー
第1回	平成20年 9月18日(木) (実施済み)	労働契約、 各種労務関係	9時～12時	中央会相談室	社会保険労務士 佐藤 秀樹
第2回	平成20年10月16日(木)				
第3回	平成20年11月20日(木)				
第4回	平成20年12月18日(木)				
第5回	平成21年 1月15日(木)				
第6回	平成21年 2月19日(木)				
第7回	平成21年 3月 5日(木)				

●お問い合わせ・お申し込み先

中央会 工業振興部（丸山、西本、中井）

高松市福岡町2-2-401 TEL：087-851-8311 E-mail：staff@chuokai-kagawa.or.jp

平成20年度モデル組合が指定されました

本会では毎年、小企業者組織化指導事業の一事業として、小企業者組合（※）のうち、他の模範となる組合をモデル組合に指定するとともに、当該組合が行う講習会開催等の教育情報提供事業及び他の小企業者組合等に対するパンフレット作成による成果普及事業に対して助成を行っています。本年度は、次の2組合を指定しました。

香川県建築設計協同組合

■所在地 〒760-0026 高松市磨屋町6番地4

■代表理事 斉 藤 孝 ■設立年月日 昭和50年4月16日

■業種 建築設計業 ■出資金 3,100,000円 ■組合員数 31名

■主な事業 建築工事の設計・管理の共同受注事業、公営住宅等の建物の維持管理の共同受注事業、教育情報事業

高松田町商店街振興組合

■所在地 〒760-0053 高松市田町8番地29

■代表理事 秋 山 滋 ■設立年月日 昭和46年11月18日

■業種 小売業、サービス業等 ■出資金 1,390,000円 ■組合員数 118名

■主な事業 共同売り出し事業、教育情報事業

※小企業者組合とは…構成員の4分の3以上が小企業者（常時使用する従業員の数が5人（商業又はサービス業を主たる事業とする事業者については2人）以下の会社及び個人）の組合です。

■お問い合わせ先 香川県中央会 企画調査部 TEL：087-851-8311

新設組合紹介

新たに下記の組合が設立し、本会に加入しましたのでご紹介します。

香川育成開発事業協同組合					
代 表 理 事	鈴木 國市				
主 な 事 業	・組合員の取り扱う建築材料及び作業服の共同購買 ・教育情報提供事業 ・外国人研修生共同受入事業 ・福利厚生に関する事業				
地 区	香川県高松市、丸亀市、坂出市、綾歌郡				
事 務 所 所 在 地	綾歌郡綾川町陶7019番地5				
組合員たる資格	土木工事業、建築工事業、塗装工事業、はつり解体工事業、金属プレス製品製造業、その他の電子応用装置製造業				
組 合 員 数	10名	出 資 総 額	1,000,000円	所 管 行 政 庁	香川県
設 立 登 記 日	平成20年1月10日				
設 立 の 目 的	情報の交換、人材の育成、作業服・建築資材等の共同購入、外国人研修生受入事業の実施に効率的に取組み、将来を見据えた企業づくりを行うことを目的に設立しました。				

香川国際経済交流協同組合					
代 表 理 事	近藤 善和				
主 な 事 業	・組合員の取り扱う副資材及び事務用品の共同購買 ・教育情報提供事業 ・外国人研修生共同受入事業 ・福利厚生に関する事業 ・組合員のためにする事業の国際化研究事業				
地 区	香川県				
事 務 所 所 在 地	仲多度郡多度津町大字葛原1923番地7				
組合員たる資格	一般土木建築工事業、造園工事業、塗装工事業、冷暖房設備工事業、水産食料品製造業、貿易商社、通訳業				
組 合 員 数	8名	出 資 総 額	1,200,000円	所 管 行 政 庁	香川県
設 立 登 記 日	平成20年3月26日				
設 立 の 目 的	副資材の共同購入、教育情報、国外市況の調査と研究、研修生の受入れ等の諸事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図るとともに、国際交流並びに地域の発展に寄与することを目的に組合を設立しました。				

協同組合友好三豊					
代 表 理 事	吉田 能國				
主 な 事 業	・組合員の需要する肥料、農薬及び作業服の共同購買 ・外国人研修生共同受入事業 ・教育情報提供事業 ・福利厚生に関する事業				
地 区	香川県三豊市				
事 務 所 所 在 地	三豊市仁尾町仁尾甲226番地2				
組合員たる資格	野菜作農業、果樹作農業				
組 合 員 数	5名	出 資 総 額	1,000,000円	所 管 行 政 庁	香川県
設 立 登 記 日	平成20年4月15日				
設 立 の 目 的	食の安全性に対する関心が高まる中、将来を見据え、農業者が生き残っていくために、情報の交換、人材の育成、共同購入、外国人研修生共同受入事業による国際貢献を効率的に行うことを目的として組合を設立しました。				

商工中金だより

10月1日、商工中金は株式会社に変わりました

商工中金は、昭和11年11月に設立されて以来、70余年にわたり、中小企業等の組合を核とした独自のネットワークを通じて、中小企業金融の円滑化に全力を尽くしてまいりました。そして、10月1日、「新商工中金法」のもと、協同組織金融機関から株式会社形態に移行し、新たな一歩を踏み出しました。

商工中金はこれまで、中小企業専門金融機関として中小企業の皆さまの成長・発展を支援してまいりました。株式会社化後も、「お客さまの成長こそが私たちの成長」であるとの考えのもと、顧客ニーズを踏まえお客さま本位のサービスを提供し、顧客満足を追及するという「お客さま第一主義」の経営スタンスを、より一層徹底してまいります。

これからも多くのお客さまと色々なお話をさせていただきながら、お客さまの未来を考え、お客さまとの関係を何よりも大切にしながら、役職員一丸となって邁進していく所存です。商工中金は株式会社に変わりましたが、「中小企業の中小企業による中小企業のための金融機関」として、また、「皆さまの資金を安全・有利に運用する金融機関」として、引き続き皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、職員一同、全力で努力を続けてまいります。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

株式会社 商工組合中央金庫 高松支店長 久家幸一郎



▲オープニングセレモニー



人を思う。未来を思う。

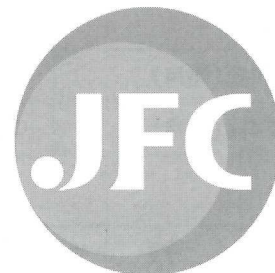
商工中金

【お問い合わせ先】
商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0052 高松市瓦町1-3-8
TEL 087-821-6145 FAX 087-851-6074

日本政策金融公庫だより

- 中小企業金融公庫は、平成20年10月1日に「株式会社日本政策金融公庫 中小企業事業」へ移行しました
- 国民生活金融公庫は、平成20年10月1日に「株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業」へ移行しました

10月1日より、中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、農林漁業金融公庫及び国際協力銀行（国際金融業務）は統合し、株式会社日本政策金融公庫（政策公庫）となりました。政策公庫は、株式会社のガバナンスの仕組みを活用して透明性の高い効率的な事業運営を行い、株式の全額政府出資が法律で定められていることから、公共性の高い政策金融を担うという組織の性格は従来と変わりません。



日本政策金融公庫 高松支店 中小企業事業
（旧 中小企業金融公庫）
〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階
TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423
URL:<http://www.jfc.go.jp/>

日本政策金融公庫 高松支店 国民生活事業 融資相談係
（旧 国民生活金融公庫）
〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階
TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274
URL:<http://www.jfc.go.jp/>

組合企業訪問 頑張ってます

有限会社 明田商店

～エレガントシューズ アケタ～

- 所属組合 高松ライオン通商店街振興組合
- 役職名 代表理事

会社の概要



代表取締役 松山千恵子

- 代表取締役 松山千恵子
- 創業 1947年(昭和22年)
- 設立 1958年(昭和33年)
- 資本金 300万円
- 従業員数 10名
- 住所 【アケタ本店】
〒760-0079
高松市今新町7-3
TEL 087-821-6687
FAX 087-823-5592
【002(ダブルオーツー)店】
〒760-0051
高松市南新町8-15(菊池寛通り)
TEL 087-833-3002
- 姉妹店住所 【Gola高松】
〒760-0043
高松市今新町8-1
TEL 087-851-9283
- 事業内容 靴・小物小売業
- U R L <http://www.aketa.co.jp/>

沿革

- 1947年 ライオン通商店街にて明田履物店創業
- 1958年 有限会社明田商店設立
- 1965年 エレガントシューズアケタとして革靴の取り扱いを開始
- 1996年 菊池寛通りに002(ダブルオーツー)開店
- 2005年 今新町に姉妹店・Gola高松開店

ライオン通商店街四番街・アケタ靴店は、1947年(昭和22年)、現代表取締役松山千恵子氏の父親がこの地に創業したことに始まる。

当初は、下駄、草履の履物や運動靴を中心とした品揃えであった。

1958年(昭和33年)に有限会社へ組織変更。1965年(昭和40年)、エレガントシューズアケタとして履物から革靴へと商品をシフトさせていく。国内外有名ブランド他オリジナルの革製品を取り扱い、県内外から多くの常連客が訪れる。

1996年(平成8年)に菊池寛通りに支店となる002(ダブルオーツー)をアンテナショップとして出店、ヤング層のファッションにおける靴の役割を認識させる一端を担う。また、2005年(平成17年)、には、姉妹店として若者に人気のイギリスブランドGolaの日本初となるオンリーショップ・Gola高松を今新町にオープンさせた。



◀002
(ダブルオーツー)



◀アケタ靴店



◀Gola高松

靴選びのプロとして

靴小売業界は、相次ぐ衣料品業界からの参戦や、安価な輸入品の品揃えの量販店の展開により、一般小売店は苦しい戦いを強いられているのが現状である。

しかし、安価な大量生産品はファッション性に欠け、履き心地にも問題がある場合も多い。

「最近の消費者嗜好は両極端」と松山社長が話しており、市場は「安さ志向」と「本物志向」に二分されており、特に婦人靴では「高くても良いものを買う」という消費者も多い。

「お客様一人一人にプロとして接客し、ニーズに応えつつ、本当にその方に合った靴を提案している。もちろんアフターサービスも万全。10年以上愛用された靴を修理に持って来られるお客様もいます」と話す松山社長の靴店には、徳島県など県外からもお客さんが訪れる。



▲店内写真

また、ファッションの発信地イタリア・ミラノにおいて年2回開催される世界最大規模の国際靴見本市にも足を運び、日本人に合う色や形、ヒールの高さ等の細部にこだわったオリジナルシューズを注文、作成している。

注文の際、国の文化の違いを越え、お互いの信頼関係を築く中、日本人としての感性が伝わるまで、誠意を尽くし、とことん話し合い、妥協はしない。

「お客様に満足してもらいたい思いは一貫しています。情報提供はもちろん、しっかりとしたビジョンをもって、専門店としての差別化を図っていききたい」と松山社長は話す。

ライオン通商店街のリーダーとして

ライオン通商店街は高松一の歓楽街に位置する商店街。松山社長は平成20年より高松ライオン通商店街振興組合の理事長を務めている。高松市8町の商店街はもとより、県内商店街においても女性初の理事長ということもあり、その注目度は高い。

「心も体も温まる人にやさしいまちづくりができれば」と思い発案した「足湯コーナー」も好評である。この「足湯」は塩江温泉郷の源泉を利用したもので、10月から3月の期間、毎月26日（フロの日）に設置している。

「足湯サービスの盛況は、塩江温泉にご協力頂いたことも大きい。今後、県内の色々な方々と協力し、香川県活性化を図りたい。8町の商店街が連携し、商店街から元気を発信したいと思っています」と松山社長。靴店のオーナー、そしてライオン通商店街のリーダーとして、奮闘の日々である。



▲好評の「足湯」コーナー

今後の抱負

創業より50年、ライオン通商店街において小売業を営んでまいりました。革靴を取扱始めた当時、インポートブランドを取り扱う店は少なく、雑誌やテレビで情報を得ても買う場所がないのが現状でした。

“オシャレで素敵な人が集う街に”の一心でここまで続けてこられました。

中小小売業にとっては受難の時代と言われていますが、アケタ靴店の財産は「お客様の笑顔」、その笑顔のためにこれからも靴のプロとしての誇りをもって、街の靴屋さんであり続けたいと思っています。

受入れ機関の連携を通じた日本語教育の実施

ー 日本語弁論大会の開催 ー

情報ハイウェイ(協)、関通国際交流事業(協)、情報リンク(協)、情報ベンチャー(協)

日本語教育は、研修・技能実習期間を有意義なものとするためには欠かせない要素の一つです。これまで、日本語能力検定合格者に対する報奨金の贈呈、研修生・技能実習生向けの情報誌の作成、個人指導等の工夫を施した日本語指導の事例を取り上げてきましたが、今回は受入れ機関の連携を通じ、より実践的な日本語教育に取り組んでいる4組合の例をご紹介します。

2006年5月3日(水)、神戸市オリエンタルホテルにおいて、情報ハイウェイ協同組合、関通国際交流事業協同組合、情報リンク協同組合、情報ベンチャー協同組合の4組合合同主催による、「第1回日本語弁論大会」が開催されました。出場者は、4組合の中国人研修生・技能実習生約1,000人の中から厳格な審査を経て予選を通過した20名で、それぞれ「私と日本の家族」、「日本での研修生活」、「日本語について」等、日本の生活や文化に触れて感じたこと、研修・技能実習を通して感じたことについて弁論を行い、会場は深い感動に包まれました。

このうち、組合職員や兵庫県職業能力開発協会、(財)国際研修協力機構(JITCO)職員から成る審査員5名によって、最優秀賞が1名、優秀賞が3名、優良賞2名が選ばれました。



最優秀賞に選ばれた賈玉聡さん(情報ハイウェイ協同組合)

4組合は異業種の組合で、中部・関西・中四国を基盤地区とし、高速道路関連と共同購買を主体事業として活動していましたが、5年前より外国人研修生共同受入事業を開始しました。各組合の理事長は、中央会等の集まりの中で懇意

になり、その繋がりをもとに「情報グループ」を形成しました。

これまで、研修生・技能実習生受入れ事業に関する組合職員同士の情報交換を行うことはありましたが、研修生・技能実習生を交えたイベントや交流の場はなく、各組合とも更なる連携強化の必要性を感じていました。また、研修生・技能実習生と組合・企業間の相互理解を深めるためにも、日本語のコミュニケーション能力を向上させることが不可欠であるという共通認識もありました。

そこで、情報ベンチャー協同組合が組合独自の取り組みとして、2005年より開催しているバーベキュー・パーティー、日本語弁論大会、合唱コンクール等を盛り込んだ「夏休み研修生交流会」を参考に、拡大版として、今回4組合が共催で日本語弁論大会を開催することとなりました。



夏休み研修生交流会(合唱コンクール)

4組合では、それぞれが自前の教材の作成や交換日記の実施、練習問題の配付・添削、日本語能力検定試験対策の一環としての模擬テストや検定試験終了後のアンケート調査の実施、JITCO主催の「日本語作文コンクール」への積極的な応募等を通じ、研修生・技能実習生の日本語能力の向上に努めてきました。また、今回弁論大会に出場するにあたって、特訓を実施した受入れ企業もあったようです。さらに、読み・書きだけでなく、コミュニケーション能力も向上させるため、食事中は出来るだけ中国人だけで固まらないよう日本社員が彼等と同じテーブルに座るように心がけたり、祭りやボランティア活動に参加し地域住民と触れ合うことにより、研修生・技能実習生受入れ事業や研修生・

技能実習生のことを理解してもらう、といった取組みにも力を入れてきました。

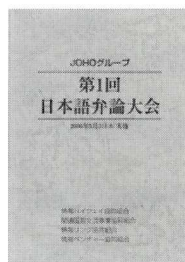


夏祭りで地域住民に手作り中華麺を披露
(関通国際交流事業協同組合)

日本語弁論大会について、4組合とも「本大会に参加して良かった。」という感想を持っています。情報ハイウェイ協同組合の坂手さんからは、「大会を経て、企業や研修生・技能実習生の間の交流が一層盛んになりました。」というコメントがありました。

また、情報ベンチャー協同組合の高島さんも、「出席した研修生・技能実習生は、他の企業の研修生・技能実習生と比較して自分達の日本語修得レベルがどの程度に位置づけられるかを把握出来たようです。組合としても、今後何に重点を置いて指導を行っていけばいいかが明確になりました。」と本大会の効果について述べています。

大会後、4組合では弁論内容を取り纏めた作品集と出場者の練習風景や当日の様子を録画・編集したDVDを作成し、各企業に配布するとともに、2006年6月末に創刊したJOHOグループの情報誌「に～はお通信」にも記事を掲載しました。



弁論内容を取り纏めた
作品集とDVD



これらは惜しくも落選し、出場できなかった、或いは当日20名の出場者の弁論を見ていた研修生・技能実習生に大きな刺激となり、彼等の日本語学習へのモチベーション向上に役立つツールとなったようです。

今回の大会は、規模の拡大によって、出席者数も今回の約100名から倍程度増えることが予想されており、本大会の事務局担当者の一人である関通国際交流事業協同組合部長の相賀さんによれば、「各企業、特に生活指導員の方々の本大会の開催についての理解が求められています。」とのこと。

次回に向けての意気込みを伺ったところ、情報リンク協同組合の深澤さんより次のようなお話がありました。

「当組合の出場者は、今回準備不足だったこともあり、ステージが上がった時は緊張して棒読み状態となっていました。来年は、入賞を目指し、十分に準備した上で当日に臨みたいと思います。」

また、今回参加した同組合の傘下企業、山一商事株式会社の研修生肖永さん、同社の専務取締役の山下喜一郎さんから下記のコメント（原文を反映）がありました。

「去年の弁論大会を通じて、僕は研修生・実習生の皆の日本語への熱意を感じました。また、組合や会社の皆さんの僕らへの気遣いのありがたさに心から感謝いたします。今年も自分の気持ちや経験を皆さんに伝えたいと思います。どうぞ、宜しくお願いいたします。」(肖さん)

「日本と中国の架け橋として頑張る研修生と実習生。自分達の思いを日本語で伝えることは他のどんなことよりも勉強になります。今後も積極的に参加してもらいたいです。」(山下さん)

このコーナーの事例は、(財)国際研修協力機構発行の

「2006年版 外国人研修・技能実習に関する成果事例集」よりご紹介しています。

<内容についてのお問い合わせ先> (財)国際研修協力機構 総務部 企画調整課 Tel.03-6430-1104

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	O型自分の説明書	Jamais Jamais	文芸社/1,050円
2	悩む力	姜尚中	集英社/714円
3	恐慌前夜	副島隆彦	祥伝社/1,680円
4	ソロスは警告する	ソロス,G.	講談社/1,680円
5	「ARASHI IS ALIVE!」	荒井俊哉	集英社/2,300円

香川県書店商業組合調べ

パワー・ハラスメント防止セミナー

昨年、パワー・ハラスメントによる自殺に初めて労災認定の判決が出されました。企業としてパワハラ問題に適切に対応しなければ、大変大きなリスクを負うことになります。

本セミナーでは、パワハラからセクハラまで、ハラスメント対策に大きな実績のある(株)クオレ・シー・キューブからハラスメント対策の第一人者である井上卓也先生をお迎えし、パワハラ問題の現状から対策までを具体的にわかりやすく解説します。

日 時 平成20年11月5日(水) 13:30~15:30

場 所 アルファあなぶきホール(旧香川県県民ホール) 大ホール棟5F 高松市玉藻町9-10 (TEL087-823-3131)

講 演 「パワー・ハラスメント 企業が取るべき最善の防止策」 株式会社クオレ・シー・キューブ 井上 卓也

参加費 10,000円(参考資料代を含む)

お申込みいただいた後に振込先等をご連絡いたします。

●対象者 経営者、管理者、人事労務担当者など 50名

●主 催 (財)21世紀職業財団香川事務所 香川県経営者協会

10月31日(金)までにFAXまたは郵便でお申し込み下さい。定員になり次第締切らせていただきます。

〒760-0023 高松市寿町1-1-12パシフィックシティ7F (FAX) 087-822-2023 (電話) 087-822-2027

事業所名	所在地・電話番号
参加者 役職・氏名	参加者 役職・氏名

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

4日	香川県商店街振興組合連合会・香川県中小小売商団体連合会三役会 (ロイヤルパークホテル高松)
5日	中小企業底上げ・地域活性化香川県集会連絡会議 (香川県商工会連合会)
9日	公衆浴場入浴料金審議会 (香川県庁)
	地域力連携拠点事業連絡会議 (頭脳化センター)
10日	四国ブロック中央会官公需事業指導員会議 (愛媛県)
	組合等情報ネットワークシステム等開発事業委員会 (中央電業(株))
11日	三木商工協同組合臨時総会 (丸幸)
12日	アジア人財資金構想高度実践留学生育成事業香川地域連絡会 (香川大学)
	健康保険事業懇談会 (ホテルニューフロンティア)
15日	廣瀬八千代氏旭日単光章受章記念祝賀会 (三本松ロイヤルホテル)
17日	中央会コーディネーター養成研修~9/19 (東京都)
	中小企業支援担当者等研修~10/8 (東京都)
	地域力連携拠点事業(さぬきうどん振興協議会) (ルポール讃岐)
18日	香川県産業・企業動向関連情報連絡会 (香川県庁)
	労働契約法に係わる相談窓口 (本会)
19日	全国中央会正副会長会議 (神奈川県)
	香川県成長力底上げ戦略推進円卓会議 (ルポール讃岐)
	組合等Web構築支援事業委員会 (高松青果物商業協同組合)
22日	青年部ボウリング大会 (大洋ボウル)
25日	中央会指導員等講習会~9/26 (東京都)
26日	四国地区中央会指導員等研究会 (愛媛県)
	新連携・地域資源・農工商連携交流勉強会 (e-トピアかがわ)
29日	地域力連携拠点事業実施委員会 (本会)
	地域力連携拠点事業(さぬきうどん振興協議会) (本会)